



申請者が法人の場合は、代表者の住所、氏名も併せて記載します。

令和 元 年 12 月 10 日	住 所 (所在地)	〒×××-×××× 〇〇市△△町×-×  (電話 ×××-××××-××××)
三重県 〇〇 県税事務所長 あて	氏 名 (名 称)	〇〇 〇〇

### 徴収猶予申請書

納付(納入)すべき徴収金	年度	期別	税 目	納期限	税 額	延滞金	加算金	滞納処分費	計
	元	H30.定期2期	個人事業税	R元・12・2	250,000	円 法律による金額 円 要			250,000
			合 計		250,000				0
上記のうち徴収猶予を受けようとする金額					200,000				0

申請時に未納となっている県税をすべて記載します。猶予を受けようとする県税がわかるように〇印等を付けてください。

「納付(納入)すべき徴収金」の合計額から「財産目録」又は「財産収支状況書」で計算した「現在納付(納入)可能額」を差し引いた金額を記載します。

猶予を受けようとする期間 令和 元 年 12 月 10 日 から 令和 2 年 3 月 31 日まで 4 月間

地方税法第15条第1項第2号該当 猶予期間の開始日(=申請日又は申請日が納期限以前の場合は納期限の翌日)から下記「納付(納入)」計画の最終日まで。

猶予該当事実の詳細及び一時に納付(納入)することができない事情の詳細

令和元年9月に〇〇が交通事故に遭い、同月から令和元年10月まで△△病院に入院し、その後も通院している。

△△病院に治療費及び入院費として70万円を支払い、××生命保険から保険金40万円を受領しているため、差引金額である30万円の出費により納付が困難になった。

「財産収支状況書」又は「収支の明細書」の分割納付(納入)計画を転記します。

納付(納入)計画	期 限	金 額	期 限	金 額
	令和 元. 12. 31	50,000 円		
	令和 2. 1. 31	50,000 円		
	令和 2. 2. 28	80,000 円		
	令和 2. 3. 31	20,000+延滞金		

以下の場合、担保は必要ありませんので「□無」に☑を付けます。

- ①猶予を受ける金額が50万円以下の場合
- ②猶予を受ける期間が3ヶ月以内の場合
- ③担保を提供することができない特別の事情がある場合

担保として提供する財産の種類、数量、価額、所在等を記載。保証人の場合は、保証人の氏名及び住所を記載します。

「☑無で③に該当する場合は、特別の事情(「担保として提供できる財産を所有していないため」など)を記載します。

担保	<input type="checkbox"/> 有	種類、数量、価額及び所在又は提供できない特別の事情	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 無		

添付書類

<input checked="" type="checkbox"/> 猶予該当事実証明書類	<input type="checkbox"/> 財産目録	<input type="checkbox"/> 収支の明細書
<input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書	<input type="checkbox"/> 担保関係書類	

猶予を受けようとする金額が50万円を超える場合: 財産目録、収支の明細書  
 猶予を受けようとする金額が50万円以下の場合: 財産収支状況書

担保「☑有」の場合